

2022年 押原小学校は地域・保護者に支えられ、コミュニティ・スクール9年目を迎えます。



## 『もっと いい学校』をめざして

令和3年度末人事異動に依りまして、歴史ある押原小学校 校長を務めさせていただくことになりました深澤秀興（ふかさわ ひでおき）と申します。

保護者、地域の皆様方にはお世話になりますが、どうぞよろしくお願い致します。

年度の始めにあたり、本年度、どのような考えで学校経営を行っていくか、御説明をさせていただきます。

本校は6年間の学校生活を通して、学校教育目標に掲げる「ともに学び合い、心豊かにたくましく、生きる子どもの育成」を目指して参ります。具体的には、自分の考えをもち、自ら学ぶことができる「かしこい子」、豊かな心をもち、人を思いやることのできる「やさしい子」、心と体をきたえ、最後までやり抜くことのできる「たくましい子」の育成を目指します。

加えて、目指す学校像として「もっと いい学校」を掲げ、学校経営に取り組んで参りたいと考えています。残念ながら、未だ、新型コロナウイルス感染症は収束の兆しを見せず、今年度もwith corona の中での学校生活を、子どもたちに強いることとなります。しかしながら、そのような状況であるからこそ、これまでの押原小学校の“よき”を引き継ぎ、全児童、教職員と共に、保護者、地域の皆様方のお力添えも得ながら、子ども、保護者、地域の皆様方にとって「もっと いい学校」をめざして取り組んでまいりたいと思います。

ここに掲げる「もっと いい学校」とは、「子ども一人ひとりが大切にされ、明るく楽しく学べる学校」であり、「保護者の思いや願いに寄り添い、信頼される学校」であるととらえています。また、「家庭や地域と一体になって子どもを育てる、開かれた学校」であるとともに、私たち教職員にとっても「支え合い、学び合いながら教師力を高める学校」であると考えます。

本年度は、204日の授業日を予定しています。この、204日の教育活動を通して、学校教育目標及び「めざす子ども像」に、331名の子ども達を誘うべく、教職員37名の心を一つにして取り組んで参ります。

私自身、「もっと いい学校」づくりの先頭に立つべく、しっかりと押原小学校の舵取りを行っていきたくと思います。その一つとして、「顔の見える校長」を目指してまいります。具体的には、学校便りやblogを通して、私がどんなことを考えているのか、押原小をどこに導こうとしているのか、学校には今、どんな空気が流れているのか……。開かれた学校をめざし、積極的に情報発信を行っていきたくと思います。更に、朝の登校指導等を通して、積極的に地域にも出向いていきたくと思います。

保護者、地域の皆様方の本校教育活動に対します御理解と御協力をよろしくお願い致します。



校長 深澤秀興